

地域密着型サービスの自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしい暮らしを続けることを支援しながら、運営推進会議の中や、行事等で地域に開かれたグループホームを目指していることを伝えています。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	笑顔と挨拶 一人ひとりのペースを大切にの理念をあげている。それを日々のケアの中で職員で共有し取り組んでいます。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	玄関にも理念を打ち出しておりまた、ホームの行事や、運営推進会議の中でも家族や地域の方々に理解をしていただけるよう取り組んでいます。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ホームが高台にあり隣近所との日常的な付き合いは難しい面がありますが地区の自治会に入会して少しは顔なじみが出来ています。また運営推進会議を通して区長、民生委員、地区の消防団にもなにかと協力を頂いています。	○ ホームの防災、非難訓練等には、地区の消防団の多数の方々に参加協力をいただいております、これからも日常的な付き合いが出来るように努めていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の自治会へ入会し回覧板が廻ってくるようになりましたが地区の行事等になかなか参加できないのが現状です。	○ 地区活動や行事等に参加をしたりホームの行事等の参加の声を回覧板等を活用しもっと積極的に地域の人々との交流に努めていきたい。

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（2号館）

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	グループホームは高台に位置し災害時の避難場所としての受け入れができるようにしています。非常食も用意しており地域の方へ貢献できるように努めています。	○	運営推進会議を通して地区の方々へ地域貢献や野菜の作り方、食事会での交流等の協力を呼びかけています。民生委員の偏り偏り、文章にして回覧板等で流してもらったらありがたいですと言われましたので文章にして流したいと思います。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価に取り組むことで新しい職員のグループに対する認識や家族、利用者のかかわりかたに新たに直したり、日々のケアに対する反省の機会として取り組んでいます。	○	新しい職員の日での感想を聞いたり、今までの職場の良いところやホームで活かせるところなどを職員間で話し合い取り組んでいきたいと思ます。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中で出た意見や質問に対しては、職員や理事長との話し合いを持ち次回には回答出来るようにしてサービス向上に努めます。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者とは運営推進会議以外にも書類等又は運営規定等の相談指導を受けサービスの向上に努めています。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修会には参加しています。利用者の方の必要があれば支援してきたいと思います。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入居者同士でも暴力行為やトラブルがあり、言葉使いや対応には気を付けています。ミーティングの中でも常に話し合いの時間を(1日1回) 設けています。	○	理事長への報告や家族への報告で、他施設の検討も視野に入れながら継続して対応していきたいと思ます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時に説明を行ってグループホームの内容を理解していただけるように努め、又面会時等にも家族の言葉に耳を傾け不安や疑問を聞けるように努めています。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者が不満や苦情をいつでも気軽に言うような雰囲気や言いやすい関係を築き傾聴するように心がけています。苦情があった時は理事長、職員間で話し合い、できるだけ本人の希望に添えるように努めています。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>月1回請求書を送る時に各担当者が利用者の暮らし振りや健康状態、金銭等の報告をしています。</p>	<p>○</p> <p>キーパーソンのみならず県外在住のご家族にも不定期ではあるが利用者（3人）の暮らしぶりや写真等を入れ報告をして喜んで頂いています。3人だけではなく、他の利用者も取組んでいきたいと思えます。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議の中でもご家族が意見、不満、苦情を気軽に言えるような機会や時間を設けたり、ホーム内にも苦情箱を設置していることや、また外部者へ表せる場所として瀧井病院の支援事業所を設けていることをお伝えしています。</p>	<p>○</p> <p>新しい職員もいるので、ご家族とのなじみの関係を作る努力をしながら気軽に意見や苦情等を言っていただけるような雰囲気作りを取り組んでいきたい。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回のミーティングの中で職員の意見交換が出来るようにしています。また問題によっては理事長に相談しながら行っています。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>その月の行事や受診がスムーズにいくように、その時の状況に応じて職員数を確保し勤務の調整に努めています。</p>	

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（2号館）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> <p>関連施設の行事等には入居者や職員が参加したり、時には散歩コースで訪問をしています。しかし中には忘れられており利用者へのイメージダウンは少ないように思われます。</p>		
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> <p>研修への参加は、一人が年に2回ぐらいは受けられるように計画を立てています。又資格を取得できるように支援に努めています。</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> <p>日向地区のグループホームの管理者会を毎月1回開催して交流を兼ね勉強会を行っています。</p>	○	職員同士の交流と各ホーム訪問も取組んでいきたいと思っています。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> <p>職員間で話合いを持ったり、不平、不満、不安に対して言いやすい雰囲気や努めたり、また困難な問題に対しては理事長に相談をしながら取り組んでいます。</p>	○	介護に対して一生懸命に取り組めば取り組むほどストレスが増えるようで難しい面もあります。何でも話せる雰囲気を心がけたり、どうしたら発散できるかを職員間で話しています。
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> <p>職員の資格取得に向けた支援を行っています。また職員の状況に合わせた部署で働きやすいようにとの配慮もあります。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初期段階では不安でいっぱいだと思いますので、相手の表情や態度に配慮しながら、また相手の訴え等にも耳を傾け、受ける側も態度や表情や言葉づかいに気を付けながら受け止めるように努めています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所時にご家族の不安や、希望等に傾聴したり、また面会時にも相談しやすい雰囲気をつくる努力をしケアプランに活かせるように努めています。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームに見学にきていただいたり、相談時や入居時にご家族や本人の思いを見極め、他にもいろいろなサービスがあることや、相談窓口があることを含めた対応に努めています。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	新規で入所された方は不安でいっぱいだと思いますので1対1での会話やスキンシップを心がけ、他の利用者の方々と親しくなれるように職員が中に入り雰囲気づくりや、寄り添いの介護に努めています。	○ 当初はご家族の面会を呼びかけています。また本人が安心して生活が出来るように、相手の訴えに傾聴したり笑顔を中心掛けるように継続して取組んでいきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	毎日の生活の中で出来ることは一緒にしています。出来たところは一緒に喜び楽しい時間が過ぎるように努めています。また出来ないところは援助させていただくといった同等の立場で生活をして頂いています。利用者の方からは、物を大事にする心、感謝の心を学んでいます。	

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（2号館）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>		
29	<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	○	<p>時には自宅まで連れて行ったり、またその人の精神状態に合わせ期間をあけたりして、お互いがいい関係でいられるように支援を継続していきたいと思います。</p>
30	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	○	<p>以前から行き付けだった美容室やよく行ったお店等には、継続して連れて行くように取り組んでいきたい。</p>
31	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	○	<p>個性の強い方や、あまり人とかかわりたくない人などその人の状況に合わせてながら声掛けこれからも努めていきたいと思います。</p>
32	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>		<p>関わりが必要とする利用者や家族に対しては常に連絡を取り状況を把握し、支援に努めています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの訴えや要望に耳を傾けながら把握に努めています。本人の意思や訴えが確認できない時は、会話の中でのことば表情や態度を観察しながら対応しています。	○ リハビリや買い物、他科受診（歯科・皮膚科）等にと対応していますが、本人の意思に添えない日もあるのでその時は出来ない理由をきちんと伝えるようにしています。これからも継続していきたいと思います。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	昔の話題にふれ会話の中で生活歴や馴染みの把握に努めています。また家族の面会時電話等でお話を伺っています。	○ 本人の経験や状態に応じて提供はしている。活動意欲を触発する所までの評価は難しいが、課題として取り組んでいきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	常に笑顔での声かけ本人の表情や行動・態度を見極めながら、安心して一日が過ごせるように心がけている。	○ 入居者の表情を引き出せるような言葉かけ雰囲気づくりは毎日の課題として心がけている。毎日の課題として取り組んでいきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	一人ひとりに声かけにて対応しています。本人の意向がつかない方は本人の表情や態度を見極めながらカンファレンス時に職員間で話合っています。また家族の面会時や電話等で意向を伺い作成をしています。	○ 月1回のミーティング時の意見を基に本人・家族の意向を反映した介護計画となるように、これからも取り組んでいきたいと思います。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月の勉強会の中でカンファレンスを行いその人の能力に応じて見直しをしています。また対応が出来ない変化が生じた場合は家族や主治医とも相談し新たな介護計画を立てています。	○ ミーティング時に気付きや問題点を常に提示しながら取り組んでいきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践気付きなどを個別記録に入記して職員間で共有しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、馴染みの関係を大切にしながら事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の要望や家族の生活状況に応じた必要なサービスを必要な時に提供しています。	○	本人の生活状態に応じた施設の検討や本人・家族の希望を理事長、ケースワーカーと相談しながらその人らしい生活が出来るような支援に常に取り組んでいきたいと思います。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人の意向や必要性があれば関係機関等への支援をしています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	帰宅願望の強い方に家族や支援事業所・理事長との相談の結果、短い期間でしたがデイサービスを利用し家庭復帰の第一歩を踏み出せました。	○	本人の意向や必要性があれば他のサービスを利用する為の支援をしています。これからも取組んでいきたいと思います。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の意向や必要性があれば協働し支援していきます。		

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（2号館）

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院の併設型施設であり、2週間に1回の定期受診を主治医から受けています。また突発的な病状に対しても常に主治医に連絡を取りその都度指示を受けています。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	理事長が精神科医であり定期受診以外にも、その都度指示や助言をもらっています。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	入居者の健康状態は常に看護師と職員との話し合いをもっています。また職員間でも早期発見に努め指示や助言をもらっています。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には利用者の状態等を把握するためにも面会に行ったり連絡を密にとり、医師、看護師との情報交換に努めています。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期のケアについてはご家族、主治医、職員との話し合いを設けています。また終末期に向けた方針は職員間で共有しています。	○	ご家族の希望により終末期までをお受けした方がいます。常に主治医との連絡を密にし指示や助言を受けながら継続して対応に取り組んでいきたいと思ひます。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご家族と主治医、職員とでの話し合いを持ち、グループホームで出来ること出来ないことを文章にしてご家族にご理解をもらっています。	○	終末ケアを引き受けるにあたりご家族のご協力のお願ひと職員間の不安感のサポートと主治医との連携、協力の支援に継続して取組んでいきたいと思ひます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族との話し合いや、本人の状態を見ながら行っています。移られる時は生活全般にかかる情報を提供しています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄介助などはさりげない態度と言葉かけをこころがけています。便失禁などは騒がないように速やかに対応するようにしています。個人情報の取り扱いには細心の注意をこころがけています。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	意思表示が困難な方には簡単な返事やうなずきで答えられるような働きかけを行っている。職員が先回りをして答えを誘導することがないように心がけあくまでも本人の意思を聞き出すように努力をしています。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るだけ一人ひとりのペースを大切にまた体調に配慮しながら支援を行っているが介護度の重い方がいるので離床や入浴など業務に合わせてもらっている。しかし中には買い物や外出を希望される方もいるので柔軟に対応しています。	○	意欲や気力の低下があり本人の希望に添う支援が把握しきれないところを課題として取組んでいきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	外出や受診日には身だしなみには気を付けています。自分でおしゃれ出来る方には一緒に選んだり支援しています。理・美容は本人の行き着けへ連れていきます。他の方は資格保持者の職員がいますので喜んでカットしてもらっています。	○	本人の好みとは別に着やすいもの等を選んでいくところがあるので、その人らしい身だしなみやおしゃれが出来るように継続して取組みたい。

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（2号館）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>天候や入所者の体調をみながら時々玄関にテーブルを用意して昼食を食べることでいつもと違った雰囲気味わってもらっています。出来れば外食の機会を増やせるような取り組みを（2～3ヶ月に1回 イベント、行事食等）していきたいと思ひます。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>安易にオムツは使用しないで、トイレで排泄ができるような支援をしています。三人の方は夜間にポータブルトイレを設置して時間毎に誘導をしていますので、これからも継続して続けていきたいと思ひます。</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	<p>梅干し漬けや畑での野菜作り、ガーデニングでの花植えなど四季の慣わしや、季節感を大事にして、その人の力を発揮できるような役割を取組んでいます。継続して取組んでいきたいと思ひます。</p>

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（2号館）

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物へ行くと店内で自分の好きなものを選んでレジで支払いをされる方が5名おられる。そのうち1名の方はお小遣いも管理されています。他の方は職員と一緒に選びレジで支払いが出来るよう支援しています。ある1名の方は月1回銀行・郵便局へ行き口座より払い戻しをしています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	落ち着きのない方や自宅へ帰りたいと希望される方はドライブのように出掛け、時には自宅を見に行ったりなどして気分転換を図っています。外出を希望されない方も中にはおり、それぞれに対応しています。	○	本人の状態を見ながら自宅で過ごせる時間を増やしていけるように家族と協力しながら取り組んでいます。継続して取組んでいきたいと思いません。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	車椅子の入居者が多くまた、職員の多数人員の確保が難しいため、個人の希望がなかなか叶えられない。	○	花見やドライブを兼ねて故郷訪問をもっと進めていきたい。また、利用者の希望に添った計画を立てていきたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が話したい時などいつでも連絡を行い、字を書く事が困難な方は代筆を行い支援をしています。月に一回は職員より利用者の状況を郵送しています。	○	県外在住の子供さん達に不定期ではあるが、写真やホームダよりを送り近況を継続して知らせていきたいと思いません。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問にこられた際には、自室やソファーへ案内し、ゆっくりと過ごして頂いています。又、写真を取り、後で郵送しています。	○	ご家族の都合の良い時間にいつでも訪ねて頂けるよう配慮しています。職員は来方者を笑顔で歓迎しお茶やお茶菓子などを提供し、ゆっくりお話が出来ようこれからも努めていきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていません。	○	身体拘束について正しく理解し、あってはならないと全職員が認識して、身体拘束は行わないように、これからも取組んでいきたい。

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（2号館）

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	ホームの庭だけではなく隣の慶穰塾やドライブ・買い物等へ行くことで気分転換を図れるよう継続して取り組んでいきたい。
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	利用者の体調の変化や精神状態を常に職員間で報告・伝達を共有し事故防止に努めています。継続して取り組んでいきたい。
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	高台にあるため火災時は、地区の人々の協力が得られるように地域に向けて日頃から働きかけていきたい。又、地区の消防団より意見を頂いたスピーカーの件も検討もしていきたいと思います。

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（2号館）

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入所時にも家族に説明しています。日頃の面会時や手紙などに本人の生活状態等をお伝えしています。リスクについては本人らしさを損わないように見守り対応しています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェック・本人の状態・表情・顔色・排泄などを観察し記録しています。異変時には速やかに主治医に連絡し指示を仰ぎ全職員で共有しています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については薬説明書がいつでもすぐ見られるように保管しています。又薬の変更や主治医の指示は申し送りや日々の記録に記載する事で全職員が把握しています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給はゼリー・ポカリなどその人に合った水分補給を行っています。献立も食物繊維のある物が摂取出来るように心がけています。排便が出ない時など(3日目)主治医より指示薬でコントロールしています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後に口腔ケアの声かけに実施しています。1人ひとりの状態に合わせ声かけしながら支援しています。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食時・10時・15時・夜間帯に水分補給を行い水分量の少ない方はゼリーやジュースなどで対応しています。又栄養摂取の少ない方などラコールなどで栄養を摂取してもらっています。	○	利用者の中で排泄回数の少ない方に水分チェック表を活用したところ、効果があったことで職員の意識も高まり、他の方々にも取組んでいきたいとの意見があがりました。

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（2号館）

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	ノロウイルスの対策として衛生面を考慮しペーパータオルを使用しています。また毎日椅子や手すりをハイターでふきとり消毒しています。インフルエンザの予防として家族の同意のもと職員も同時に予防接種を受けています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、フキンなどは毎日消毒を行い清潔を心がけています。又、食材の消費期限などに留意し新鮮なうちに使い切るようにしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関の周りに花を植え家族や近隣のかたが親しみを持って気軽に入出入り出来るようにしています。また日中は施錠をはずし自由に入出入りできるよう配慮しています。	○	生活観を出せるように取り組んでいますが、業務に追われて十分にできていませんので、継続して取り組んでいきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	照明、換気、温度調節は入居者に合わせるよう心がけています。室内装飾は季節の花などを色紙で折ったりして飾ることで季節感を感じられるように工夫しています。	○	室内装飾では手先の器用な方もいらっしゃるのと一緒に、折り紙を折ったりして、なるべく利用者さんも活動に参加して頂いて協同につくりあげる喜びを感じてもらいたいと思います。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う方々がホールのソファでテレビを見られたり畳で休まれたりホール内を自由にマイペースで過ごしています。座席の配置も気の合う方同志を隣にすわらせたりゆったりした雰囲気保てるよう配慮しています。		

宮崎県日向市 グループホーム仰星台1号館（2号館）

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れた物をご自宅から持って来て頂 くようご本人やご家族にお願いしていますが、中 には管理できない方もいらっしゃいます。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	換気はこまめに行い、臭いの気になる場所（トイ レ）などは、芳香剤などを置いて快適に利用でき るように配慮しています。又室内の温度調整は外 気温との差がさほど感じられないよう入居者の体 調に応じて対応しています。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	ベッドにこだわらず畳の部屋を利用し安全性と入 居者が自由に動けるよう柔軟に対応しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	身体機能面を考慮してトイレの近い居室を提供す るなどの工夫をしています。トイレやお風呂場が わかるよう入り口に大きく貼り紙をしたり手製の 日めくり暦を作り、ひと目で日付けが分かるよ うに対応しています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	玄関のポーチが広い為、外気浴等を楽しめるス ペースとなっています。軽い体操やレクリエー ションをしたり庭が広いので天気の日には車椅子や 歩行器での散歩をしています。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

家族の中には住み慣れた場所、顔馴染みの職員の中でターミナルケアをお願いしたいと希望されている家族がいます。最後までその人らしく生活出来るように常に主治医と連携を取りながら取り組んでいます。平成20年の4月より医療連携加算と短期利用共同生活介護も指定を受けることにより一層充実したグループホームを目指しています。又、事業者としては、いろんな関連施設（ケア、ハウス・老人保健施設・グループホーム6ヶ所）病院を控えており月一回の管理者によるベットのマネジメント会議の中で問題点・改善点等の話し合いをすることで家族や利用者の希望者に添えるような体制作りに取り組んでいます。日々の実践としては個人の趣味や性格などを尊重し、編み物、裁縫、ぬり絵、折り紙等をその日の体調や好みに応じた活動を取り入れています。また今までの培ってきた生活を少しでも継続できるように、家事全般にわたり支援しています。一人ひとりがその人らしい生活が出来るよう訴えに傾聴し、楽しみのある日々を共に過ごせるように心掛けています。